

陸奥新報2025.12.27(土)掲載

※この画像は、当該ページに限って記事利用を承諾したものです。

転載並びにこのページへのリンクは固くお断りします。



弘前

健康経営の メリット紹介

地区労基協会が講演会

弘前地区労働基準協会は、このほど、弘前市亀甲町の津軽警備保障で講演会を開いた。同社の山口道子会長が、長年取り組んできた健康経営の内容やメリットなどを紹介し、会員が理解を

深めた。

協会の安全衛生部会は毎年この時期、弘前労働基準監督署と合同で工事現場などのパトロールを行っている。講演会は同部会の新たな試みとして初めて開いた。同社は、特に優れた健康経営を行う中小500社に贈られる国の「健康経営優良法人ブライト500」を5年連続で受けている。

山口会長は、社員の健康が「企業リスク」に関わると痛感したことがきっかけで健康経営を始めことや、長い年月をかけて社員の健康意識を高めてきた経緯を説明。2次検診の徹底によって、がんなどの重病の早期発見や、労働災害の防止に向けた安心して働ける職場環境づくりにもつながるといったメリットも紹介した。

健康経営への理解を深めた講演会
(弘前地区労働基準協会提供)